

英語リスニングA Listening A

薬：K2-04111MY、生命：K2-04111MS

素養科目 1、2、3年／前期 1単位 選択科目

科目責任者 稲田 俊一郎(英語・言語学研究室)

授業担当者 A・B組：稲田 俊一郎、C組：林 弘美

■教育目的（各クラス共通）

英語のリスニング演習を行い、「英語で聴く」ことと「英語を聴く」こと、二つのリスニング能力の向上を目指します。馴染みのある内容や興味のある話題を英語で聴き取れるようになることだけでなく、予想とは違う新しい情報を英語で聴きとれるようになることも、英語のリスニングを勉強する大きな目的です。特に、新しい情報を英語で聴きとれるようになるには、そもそも英語で何と言ったのか、英語そのものを聴き取る能力も重要となります。

■学習到達目標（各クラス共通）

1. 英語母語話者の英語を含め、世界の様々な人が話す英語を聴いて、ニュースメディアの英語から興味のある情報を得られるようになる。
2. ニュースメディアで使われる英語の語彙を補強するとともに、英語母語話者の自然な発音の特徴を学び、そもそも英語で何と言ったのか聴き取れるようになる。

■授業内容

A・B組 稲田 俊一郎

ニュース映像を題材としたテキストを用いて、海外メディアが発信する英語を自分で理解する方法を学ぶため、以下のことに取り組みます。

- ・ネイティブスピーカーの英語の特徴に慣れる基礎的な英語のエクササイズ
- ・ネイティブスピーカーの英語の特徴を踏まえたメディア英語のリスニング
- ・メディア英語のリスニングのためのポキャブラリー学習

授業では、MY-CASTのオンライン授業システムを活用して、適宜皆さんの回答の一覧を参照します。そのため、リスニング中心の授業ですが、全員参加型の授業となります。また、授業で取り組んだリスニングエクササイズは、自宅学習で何度でも利用可能です。

準備学習（予習・復習）：予習：教科書の該当範囲に知らない単語があれば、辞書で調べておく（20分-30分）。

また、付属の音声を確認しておく（10分-20分）。

復習：教科書の各ユニットの内容理解の問題や追加のリスニング課題を用いて各自で行う（15分）。

授業形態：課題解決型学習、双方向型授業（ICT活用）、講義

課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法：毎回の授業内で参加者全員の回答を参照し習熟度に合わせたフィードバックを行いながら解説する。成績は、

- ・期末試験あるいは期末課題(60%)、及び
- ・オンラインリスニング課題(MY-CAST)の取り組み(40%)

で総合評価する。

教科書：『CNN：ビデオで見る世界のニュース(23)』 関西大学 CNN 英語研究会編著(朝日出版社)

C組 林 弘美

下記テキストを用い、アメリカの学生向けニュース番組 CNN10 を題材として、リスニングを中心とした演習を行う。各学生が音声ファイル等を操作し、自分のペースでリスニングに取り組んだ上で、大体の内容が理解できているか確認を行い、その後、より詳細な部分の聞き取りへ進んでいくようにする。あわせて、語彙力の増強、音読練習、重要表現・文法事項の確認を行う。

MY-CAST上の音声ファイルやオンライン映像により、各自のペースで授業中及び自宅での学習を進められるように指導する。また、授業では取り上げないUnitに関する簡単なレポートを課す。

その他、コンピュータを利用して、次の演習を行う。

●インターネット上の音声ファイルの利用法の確認

●インターネットによる英文情報検索

授業外の時間にも、引き続き自発的に、これらの演習を取り入れた学習を進められるようになることを願っている。

準備学習（予習・復習）：予習：各ユニットに入る際に、Vocabulary と Vocabulary Exercise に取り組むこと。(30分) /

復習：各ユニットの音声ファイルやオンライン映像を視聴し、内容理解を深めるとともに、Dictation または Repeating や Shadowing に取り組むこと。やり方は授業時に指示する。(50分)

授業形態：課題解決型学習、双方向型授業（ICT活用）、講義

課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法：・毎回の授業時における各学生の演習の状態を確認し、到達度を把握する。

- ・小テストを行い、間違えやすいところなどの解説を行う。
- ・講義や定期試験に関する質問等を個別に受け付け、解説・説明をする。
- ・期末試験(70%)、小テスト+レポート(30%)で総合評価する。

